

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、持続的な成長と長期安定的な企業価値の向上を目指しております。

その実現のためには、株主やお客様をはじめ、取引先、地域社会、従業員などのマルチステークホルダーとの適切な協働に取り組むとともに、お客様に満足いただける商品を提供し続けることが重要と考えております。

「安全で快適に移動することができるモビリティ社会の実現」を通じて生み出された収益・成果について、従業員への還元や取引先への配慮が産業の魅力向上や持続的な成長において重要であることを踏まえ、マルチステークホルダーへの適切な分配を進めてまいります。

### 1. 従業員への還元

当社は、豊かなモビリティ社会の実現に貢献するために従業員の能力開発やスキルアップ等を通じて、生産性向上に取り組んでいます。

また、持続的な成長と付加価値の最大化を目指します。

当社では、多様な人材が活躍できるように、様々な制度の拡充を含め、働きやすい環境づくりに取り組んでおります。

さらに、賃金の引上げを含む処遇改善・教育訓練等、人への投資(人材投資)を実施しております。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて従来以上に能力発揮に報いる賃金体系への見直しに加え、在宅勤務制度や仕事と育児介護との両立支援制度の拡充等に取り組むとともに、教育訓練等について社内外での研修制度の拡充にも取り組んでまいりました。

今後も引き続き個社・産業の競争力向上に取り組み、従業員への持続的な還元を進めてまいります。

### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言の URL

**【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/114419-12-00-tokyo.pdf>】**

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、お客様をはじめとするステークホルダーと対話し、共に行動することにより、モビリティ社会をより良いものへと変革することに貢献していきます。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

2025年10月27日

タイムズモビリティ株式会社 代表取締役社長 川上 紀文